



運動推進 NEWS

まちづくり60年 そして未来へ

令和7年9月号 第233号

(令和7年9月30日)

公益社団法人 東京のあすを創る協会

中央区八重洲2-11-7 東栄八重洲ビル6階

Tel 03-3272-0213 Fax 03-3272-1257

Eメール tou-asu@netjoy.ne.jp

◆令和7年度 東京都生活学校連絡協議会施設見学会の開催

令和7年8月26日(火)に、東京都生活学校連絡協議会の施設見学会が開催されました。

ここ数年、毎年のように夏の暑さが更新されており、令和7年の夏も記録的な暑さとなっています。見学会当日も、とても暑い1日でしたが、無事施設見学会を行うことができました。

今年度は、横須賀市リサイクルプラザ「アイクル」を見学させていただきました。この横須賀市にあるリサイクルプラザは、「容器包装リサイクル法」に基づく分別収集に対応する国内最大規模の施設です。家庭から分別排出された資源ごみを、選別、圧縮、梱包、一時保管をして、リサイクル事業者に引き渡しリサイクル施設と、再生家具の提供やリサイクル体験教室の実施などを通じて市民へのリサイクル意識の啓発を行うプラザ施設という二つの機能を持っています。

昨年度の施設見学会は、家電リサイクルを行う千葉県市川市にある「(株)ハイパーサイクルシステムズ」の工場を見学しましたが、昨年度に引き続き、リサイクルをテーマに施設見学を行いました。朝9時に渋谷区の初台をバスで出発し、新宿の工学院大学前を経由し、途中、横浜で昼食をとり、横須賀市のリサイクルセンター「アイクル」へ向かいました。



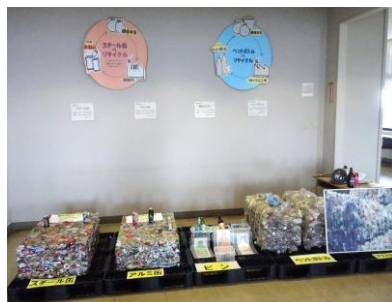
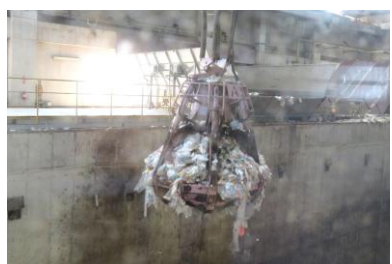
(アイクルHPから)



到着後、会議室で「アイクル」についての概要をまとめたDVDを視聴し、その後、担当の方から工場について説明を伺いました。この施設の名称である「アイクル」は、「愛」と「リサイクル」を合わせた造語で、市民からの公募で命名されたとのことでした。続いて、この工場での主な作業である、缶・ビン・ペットボトル・容器包装プラスチックを収集・選別し、圧縮又は圧縮梱包する具体的なお話を伺いました。その中で、ペットボトルとプラスチック製容器は別物で、それぞれ製品にマークがあるので分別に際しては注意してほしい旨の説明もありました。



次に、アルミ缶とスチール缶の分別方法やビンの再利用についての説明、ゴミ出しの注意点として、①ゴミは正しく分別 ②ゴミ袋は二重にしない(工場での作業の効率性) ③危険物に注意(特に、乾電池、ボタン電池、スプレー缶)の3点についてお話がありました。その後、工場内を視察しました。容器プラスチックラインでは、巨大なクレーンにびっくりしましたが、見学コース等は、特にいやな臭いも無く、とても綺麗な施設で、設備も最先端の施設でありました。



また、説明の中で、2リットルのペットボトル2本を再利用することで、ワイシャツを1枚作ることができると説明があったときには、皆さん驚きの声を上げていました。今後ともゴミ出しについてはきちんと分別し、環境にやさしい生活を心掛けましょう。

この「アイクル」の施設は、横須賀の海に面して造られており、参加した皆さんは、その景色も堪能されていました。今回の訪問を快く受け入れていただき、とても丁寧な説明等をいただいた「アイクル」の皆さん、本当にありがとうございました。

昼食は、横浜中華街の福満園さんでコースの料理をいただきましたが、ボリューム・味共にとても満足いたしました。ありがとうございました。参加いただいた皆さん、暑い中、お疲れ様でした(参加者数20名)。

